

成果指標				
成果指標	避難所カルテの整備件数			
指標設定の考え方	避難所の安全点検を実施し、施設やその周辺の危険箇所等を精査したうえで、避難可能人数など各種の避難所情報を集約した避難所カルテの整備件数。カルテ整備済避難所数/全避難所数*100(39/40*100)			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	0	0
実績	100	97.5	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>・総合防災マップの作製を計画。プロポーザルにより業者選定を行い自主防災組織を対象としたワークショップも実施し、防災教育に活用できる分かりやすいマップづくりに取組んだ。(年度内完成が困難となり繰越事業となる)・市町避難対策支援強化事業(県単)に取組み(1年目)、今年度は指定避難所の中から14施設について避難所等に整備すべき資機材(発電機・投光器・簡易トイレ・備蓄倉庫・誘導標識)を整備した。3か年で避難所全てに整備する計画だ。今後は指定避難所となっている施設管理者・市・利用すべき自主防災組織連携のもと、協議を重ね、避難所開設時の役割分担や施設の活用について取り決めをしなければならないと考える。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>防災マップのリニューアルにおいて分かりやすいマップづくりを目指しに取り組んだが、地図データ作成等に不足の日数を要し工期内完了が困難となった。市民への配布に向け早期完成に努める。災害対策基本法の改定にともない、災害種別ごとの指定避難所の見直しを行っている。また、年度計画に基づき、指定避難所に資機材備等を配備し、災害に備えた整備を推進している。今後でも防災・減災対策のできるところから行い充実を図る必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	大規模災害の発生を想定した避難所開設マニュアルの策定や、避難行動要支援者名簿の整備などを早急に実施すること。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。